

石狩湾東部沿岸における海生哺乳類ストランディングの記録

Records of marine mammals stranding
along the eastern coast of Ishikari Bay, Hokkaido, Japan.

志賀 健司*

Kenji SHIGA*

要 旨

石狩湾東部沿岸における2018年までの海生哺乳類のストランディング現地調査結果と過去の記録を整理した。その結果、鯨類74個体、鰭脚類56個体の事例があったことが明らかになった。鯨類ではネズミイルカが、鰭脚類ではトドが最も多かった。

キーワード：鯨類，鰭脚類，ストランディング，漂着，石狩湾

ストランディング情報の重要性

海生哺乳類などの海岸への座礁・漂着，混獲，河川や港湾などへの迷入を，生存・死亡を問わず，ストランディング（stranding）という。

海生哺乳類は海中に生息し，ほとんどもは体サイズが大型であること，また捕獲が規制されていたり希少生物に指定されていることも多く，通常は生態・生理などに関する研究には困難が伴う。しかし死亡ストランディングの場合，死体は胃内容調査，汚染物質やウイルス等の調査，DNA解析などの試料となるため，有用な研究材料である。また，骨格やヒゲクジラ類のヒゲ板などは長期保管や展示に適しているため，博物館等の収蔵標本となる。

それら試料・標本を確実に得ることを目的として，特に鯨類（クジラ・イルカ）のストランディングは，組織的に情報収集や試料採集が行なわれている。北海道では，北海道大学大学院水産科学研究所の松石研究室が主体となり，ストランディングネットワーク北海道（SNH）が運営され，道内のストランディング情報の収集・公開，標本の採集・分配を担っている（松石，2011；松石，

2018）。その結果，鯨類研究において多くの新たな知見がもたらされている（例えば，Taguchi et al., 2010；Nakamura et al., 2015など）。

石狩湾東部沿岸で確認されたストランディング

著者が石狩市沿岸（図1）の漂着物調査を実施してきた2005年～2018年の間に，石狩湾東部沿岸（ここでは石狩市浜益区～小樽市銭函とする）で著者が発見した，もしくは発見者から直接情報提



図1. 調査対象地域，石狩湾東部沿岸。

* いしかり砂丘の風資料館 〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4

供を受けたストランディング事例を整理した。そのため混獲事例は除外している。また、鰭脚類の場合は通常見られる地区での生体の上陸目撃情報は除外している。また、2005年以前の事例でも、いくつかの特筆すべきものは含めた。

その結果、鯨類74個体、鰭脚類56個体のストランディングが確認された（表1～3，図4～6）。これらは著者による調査結果に加え、SNHの年次報告書（SNH, 2008～2017およびweb），下関鯨類研究室ストランディングレコード（下関海洋科学アカデミー鯨類研究室web）より補完した。また、鰭脚類については体系的な情報収集は実施されておらず、また民家や海水浴場等から離れた海岸での漂着は放置されることも多いため、実際の数はさらに多いと推察される。

確認された分類群および個体数（括弧内）は、

鯨類（図2 A）：

- ネズミイルカ *Phocoena phocoena* (23)
- イシイルカ *Phocoenoides dalli* (18)
(すべてイシイルカ型)
- カマイルカ *Lagenorhynchus obliquidens* (5)
- オウギハクジラ *Mesoplodon stejnegeri* (4)
- ミンククジラ *Balaenoptera acutorostrata* (2)
- ツチクジラ *Berardius bairdii* (1)
- ゴンドウクジラ類 *Globicephalinae/Orcininae* (1)
- 不明種 (20)

鰭脚類（図2 B）：

- トド *Eumetopias jubatus* (30)
- オットセイ *Callorhinus ursinus* (10)
- ゴマファザラシ *Phoca largha* (11)
- クラカケアザラシ *Phoca fasciata* (1)
- 不明種 (4)

である。

現在の日本周辺海域で見られる海生哺乳類としては、これら鯨類と鰭脚類のほかにカイギュウ類（ジュゴン *Dugong dugon*），食肉類（ラッコ *Enhydra lutris*）がいるが、これらのストランディングは現在の石狩湾沿岸では確認されていない。なお、地質時代のものとしては、カイギュウ類化石が、石狩低地帯周縁で新第三紀中新世（古沢，

2007）と第四紀更新世（木村ほか，1983）の海成層から産出している。

2005年以前の情報として、1945年に厚田村（現石狩市厚田区）青島に、体長7間（14m）のシロナガスクジラが漂着した、との記録がある（谷内ほか編，1969）。北海道内ではこれまでにシロナガスクジラ *Balaenoptera musculus* のストランディング記録は知られていないが、目撃者の証言では「身体中にフジツボが付いている」「ヒゲは長いものは50cm，幅15cm」とされている（菊池，2003）。ヒゲ板のサイズからはシロナガスクジラも含むナガスクジラ科（小型のミンククジラを除く）が該当するが、その中ではフジツボの付着が目立つザトウクジラ *Megaptera novaeangliae* である可能性が高い。14mという体長も矛盾しな

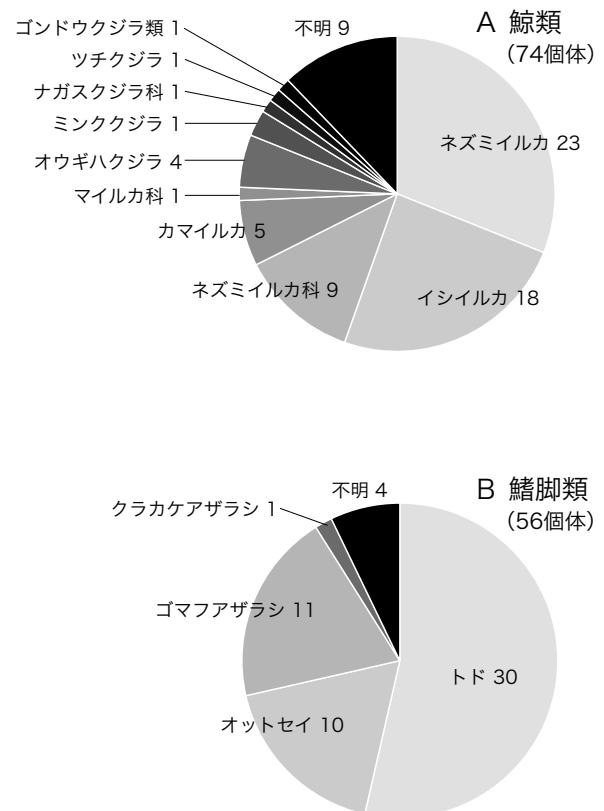


図2. 石狩湾沿岸のストランディング海生哺乳類の分類群ごとの個体数。A：鯨類，B：鰭脚類。

い、ザトウクジラの北海道沿岸におけるストランディングは、2018年までに14件の記録があるが、ほとんどは太平洋側であり、日本海側では2010年の小平町の1事例しか知られていない（SNH、2008～2017およびweb）。

1981年7月20日には、クラカケアザラシが石狩湾新港で堰堤に上陸しているのが目撃・撮影されている（石狩市、1981）。少なくとも石狩湾沿岸では同種が確認された事例は他に知られていない。

石狩湾沿岸のストランディングの年間個体数は、鯨類、鰭脚類とも毎年15個体以下で小刻みな経年変動を示している（図3 A、B）。海洋環境の変動に左右されている可能性もあるが、事例数は少ないことから、それよりは偶発的な要因や調査頻度の偏りの影響が大きいと考えられる。

これらストランディングの情報は、石狩市のみならず、周囲を海に囲まれた日本列島の自然誌の重要な記録である。また、海生哺乳類のような大型動物の漂着死体はキツネやヒグマ、カラスなど陸生動物や鳥類、分解者の栄養源となるとともに、海洋の炭素や栄養塩類を陸上へ輸送するポンプとしての役割も果たしている。海洋と陸上の生態系や物質循環を理解する上でも重要な情報であり、今後も継続して詳細な情報収集が必要である。

謝辞：本報告は、多くの方からの情報提供と調査協力とによって、まとめることができました。石川治さん、石橋孝夫さん、伊藤静孝さん、上坂由香さん、大参達也さん、桐澤秀人さん、工藤友紀さん、後藤啓之さん、酒井景子さん、佐藤千晶さん、鈴木明彦さん、内藤華子さん、白畠徹さん、福田修平さん、星岳輝さん、山田北海さん、山本佳奈さん、その他匿名情報提供者のみなさんに感謝いたします。また、北海道大学大学院水産科学院松石研究室の松石隆教授および学生のみなさんには、ストランディング通報のたびに遠方より即座に駆けつけて対応していただいたことに敬意を表するとともに、生物学の素養のない著者に様々にご教示いただいたことに感謝いたします。

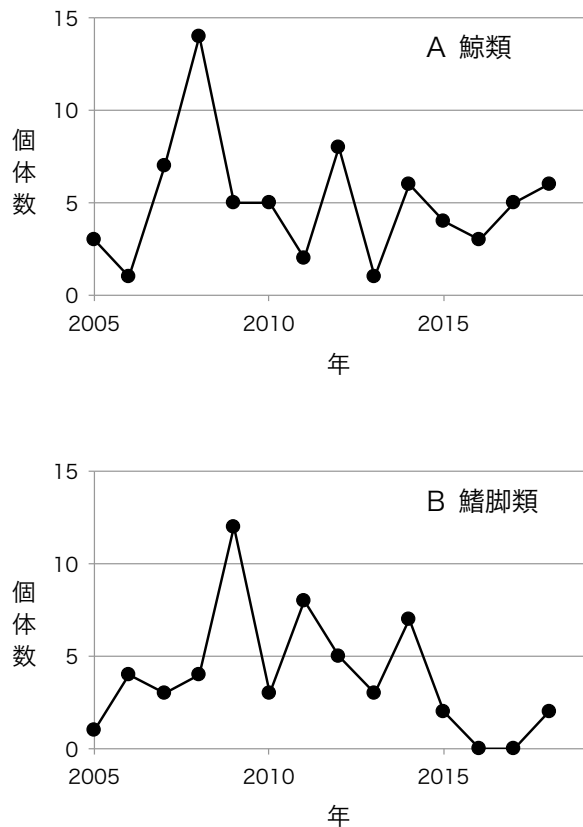


図3. 石狩湾沿岸の海生哺乳類ストランディング個体数の経年変化。A：鯨類，B：鰭脚類。

引用文献

- 古沢仁，2007. カイギュウ化石. 札幌市大型動物化石総合調査報告書—サッポロカイギュウとその時代の解明—（札幌市博物館活動センター 編），札幌市。
- 石狩市，1981. 広報いしかりNo.349（昭和56年9月号），石狩市。
- 菊池翠，2003. 青島海岸の鯨騒動記—三戸漁場に巨大鯨漂着—。未来に残すあつた百話，厚田村教育委員会。
- 木村方一・外崎徳二・赤松守雄・北川芳男・吉田充夫・亀井節夫，1983. 北海道石狩平野・野幌丘陵からの前期—中期更新世哺乳動物化石群の発見。地球科学，37(3)：162-177。
- 松石隆，2011. ストランディングネットワークとその学術的意義。日本水産学会誌，77(2)：296-299。

表1. 石狩湾東部沿岸で確認された鯨類ストランディング（2005年～2010年，それ以前）.

発見年	月	日	市・区	地名	分類	種名等	性別	体長(m)	状態・備考	情報源	SNH整理番号
1941	3	?	厚田村	青島	鯨類	「シロナガスクジラ」		14	谷内ほか編, 1969；菊池, 2003	←	
1996	3	21	石狩市	石狩浜	鯨類	オウギハクジラ	♂	5		*	
1990年代			厚田村	厚田	鯨類	中型鯨類?		4～5	漂着鯨類を埋設したとの情報（私信）	*	
2003	7	2	石狩市	石狩浜	鯨類	イシイルカ			頭骨のみ	○1	SNH030702
2005	4	22	石狩市	石狩浜	鯨類	カマイルカ			ミイラ化した頭部のみ	○2	
	6	5	小樽市	銭函	鯨類	イシイルカ	♀	1.07	生存座礁	SWL	
	12	2	小樽市	十線浜	鯨類	カマイルカ	♀	1.85		SWL	
2006	2	13	石狩市	石狩浜	鯨類	ネズミイルカ		1.75	新鮮，尾鰭に漁網が絡まっている	○3	
2007	2	24	小樽市	十線浜	鯨類	ネズミイルカ	♂	1.29	食害激しい	○4	
	4	28	小樽市	十線浜	鯨類	ネズミイルカ				○5	HUPP070428
	5	26	小樽市	大浜	鯨類	イシイルカ				SNH	HUPP070526
	5	27	小樽市	大浜	鯨類	ネズミイルカ		1.37	食害顕著，部分白骨化	○6	HUPP070527
	11	17	小樽市	十線浜	鯨類	ネズミイルカ		1.72	食害顕著	○7	HUPP071117
	12	2	石狩市	石狩浜	鯨類	中～大型鯨類			椎骨1点のみ	○8	
	12	22	石狩市	石狩浜	鯨類	ゴンドウクジラ類	♀	2.73	背部の肉を刃物で切除した痕跡あり	○9	SNH071222
2008	1	10	石狩市	石狩浜	鯨類	ネズミイルカ	♀	1.33	食害顕著	○10	SNH080108
	4	13	小樽市	十線浜	鯨類	ネズミイルカ			流出	○11	
	4	14	小樽市	十線浜	鯨類	ネズミイルカ				SNH	SNH08004
	6	8	小樽市	大浜	鯨類	イシイルカ	♂	1.22	下顎欠損	○	SNH08022
	6	11	石狩市	石狩浜	鯨類	イシイルカ	♀	2.06	新鮮	○12	SNH08026
	6	16	小樽市	大浜	鯨類	イシイルカ		1.99		SNH	SNH08029
	6	21	小樽市	十線浜	鯨類	イシイルカ	♀			○13	SNH08033
	6	21	石狩市	石狩浜	鯨類	イシイルカ	♀			○14	SNH08034
	6	21	石狩市	石狩浜	鯨類	イシイルカ	♂		腐敗進行	○	
	6	25	石狩市	望来	鯨類	イシイルカ				SNH	SNH08036
	6	26	石狩市	石狩浜	鯨類	イシイルカ		2.13	食害顕著	○	SNH08038
	6	26	石狩市	石狩浜	鯨類	イシイルカ		1.18		SNH	SNH08039
	7	1	小樽市	銭函	鯨類	イシイルカ			頭部欠損	SNH	SNH08041
	10	19	厚田区	古潭	鯨類	ナガスクジラ科		2.9+	腐敗進行，頭部欠損	○15	SNH08060
2009	1	2	厚田区	無煙浜	鯨類	ネズミイルカ科		1.84	ほぼ白骨	○16	SNH08062
	1	2	厚田区	無煙浜	鯨類	ネズミイルカ科			頭骨～胸部のみ	○17	SNH08063
	1	8	厚田区	古潭	鯨類	ネズミイルカ		1.51	半身白骨化	○18	SNH08064
	2	7	小樽市	十線浜	鯨類	ネズミイルカ		1.51	ほぼ白骨	○19	SNH08067
	3	?	厚田区	厚田	鯨類	ヒゲクジラ類			椎骨1点のみ	○	
2010	1	20	厚田区	嶺泊	鯨類	ツチクジラ	♀	4.22	幼体，食害少ない	SNH	SNH10002
	2	13	小樽市	十線浜	鯨類	ネズミイルカ	♂	1.4	半白骨	○20	SNH10005
	3	26	石狩市	石狩浜	鯨類	ネズミイルカ		1.41	ほぼ白骨化	○21	SNH10009
	4	15	浜益区	幌	鯨類	オウギハクジラ	♂	5.035		SNH	SNH10016
	6	6	小樽市	大浜	鯨類	ネズミイルカ科		1.2	腐敗・食害顕著，確認後に流出?	○	SNH10030

厚田区：石狩市厚田区
浜益区：石狩市浜益区

イシイルカはすべてイシイルカ型で、
リクゼンイルカ型は確認されていない。

○：著者が発見，もしくは発見通報を受けて現地確認した事例。
番号は図4の写真の番号に対応。
SNHに登録されているものは整理番号を記載した。
*：著者が発見通報と情報を受けたが現地確認はしていない事例。
SWL：下関鯨類研究室DBより
SNH：SNH報告書・webより



1. 2003.07.02 イシイルカ (頭骨)



2. 2005.04.22 カマイルカ (頭部)



3. 2006.02.13 ネズミイルカ



4. 2007.02.24 ネズミイルカ



5. 2007.04.28 ネズミイルカ



6. 2007.05.27 ネズミイルカ



7. 2007.11.17 ネズミイルカ



8. 2007.12.02 中～大型鯨類 (椎骨)



9. 2007.12.22 ゴンドウクジラ類



10. 2008.01.10 ネズミイルカ



11. 2008.04.13 ネズミイルカ



12. 2008.06.11 イシイルカ



13. 2008.06.21 イシイルカ



14. 2008.06.21 イシイルカ



15. 2008.10.19 ナガスクジラ科



16. 2009.01.02 ネズミイルカ科



17. 2009.01.02 ネズミイルカ科 (頭骨)



18. 2009.01.08 ネズミイルカ



19. 2009.02.07 ネズミイルカ



20. 2010.02.13 ネズミイルカ



21. 2010.03.26 ネズミイルカ

図4. 石狩湾東部沿岸で確認されたストランディング鯨類 (2005年～2010年, 抜粋).

表2. 石狩湾東部沿岸で確認された鯨類ストランディング（2011年～2018年）.

発見年	月	日	市・区	地名	分類	種名等	性別	体長(m)	状態・備考	情報源	SNH整理番号
2011	2	20	小樽市	十線浜	鯨類	ネズミイルカ		1.2	食害顕著, 半白骨	○	SNH11004
	4	7	厚田区	知津狩	鯨類	オウギハクジラ	♂	4.43		○1	SNH11007
2012	1	12	石狩市	石狩浜	鯨類	ネズミイルカ	♀	1.239		○2	SNH12001
	2	7	石狩市	石狩浜	鯨類	ネズミイルカ		1.55	食害顕著	○3	SNH12003
	2	11	石狩市	石狩浜	鯨類	ネズミイルカ	♂	1.546	新鮮	○4	SNH12004
	3	10	厚田区	知津狩	鯨類	ネズミイルカ科		1.4	ほぼ白骨化	○	SNH12005
	5	13	小樽市	十線浜	鯨類	小型鯨類		1	胴体後半部のみ, 腐敗進行	○5	
	5	15	小樽市	大浜	鯨類	ネズミイルカ科		1.3	腐敗進行, 食害顕著	○	SNH12013
	6	11	小樽市	大浜	鯨類	イシイルカ	♂	2.035		SNH	SNH12023
	12	28	石狩市	石狩浜	鯨類	ネズミイルカ		1.3	食害顕著	○6	SNH12058
2013	12	30	小樽市	大浜	鯨類	マイルカ科		2.5	頭部はほぼ白骨化	○	SNH14001
2014	6	20	小樽市	大浜	鯨類	イシイルカ	♀	1.703	新鮮	SNH	SNH14021
	6	21	厚田区	無煙浜	鯨類	カマイルカ	♂	2.23	腐敗進行	○7	SNH14022
	6	23	小樽市	大浜	鯨類	イシイルカ	♂	2.226	食害顕著	SNH	SNH14023
	6	23	小樽市	大浜	鯨類	小型鯨類				*	SNH14027
	6	25	小樽市	銭函	鯨類	小型鯨類			食害顕著	*	SNH14028
	6	27	石狩市	石狩浜	「鯨類」	「イルカ」			現地で発見できず	*	
2015	1	14	石狩市	石狩浜	鯨類	オウギハクジラ	♀	5.172	食害顕著	○8	SNH15002
	2	5	厚田区	知津狩	鯨類	ミンククジラ			頭部のみ, 白骨化	○9	
	2	26	小樽市	大浜	鯨類	ネズミイルカ	♀	1.25	食害顕著	*	SNH15005
	6	24	小樽市	銭函	鯨類	イシイルカ	♂	1.189		SNH	SNH15024
2016	1	13	石狩市	石狩浜	鯨類	ネズミイルカ		1.75	食害顕著, 受報後に流出?	*	SNH16004
	10	16	石狩市	石狩浜	鯨類	ネズミイルカ科		1~1.5	半白骨, 頭部欠損	○10	SNH16050
	10	21	小樽市	大浜	鯨類	ネズミイルカ科			頭部欠損, 食害顕著	○	SNH16049
2017	1	26	小樽市	十線浜	鯨類	ネズミイルカ		1.45	食害顕著, 受報後に流出?	*	SNH17001
	3	12	石狩市	望来	鯨類	ネズミイルカ科			頭骨後部のみ	*11	
	6	5	小樽市	十線浜	鯨類	イシイルカ			腐敗進行, 受報後に流出?	*	SNH17025
	11	13	石狩市	石狩浜	鯨類	ネズミイルカ			頭骨のみ	*	
	11	15	石狩市	石狩浜	鯨類	中～大型鯨類			椎骨1点のみ	○12	
2018	3	7	小樽市	十線浜	鯨類	ネズミイルカ				*	
	5	29	小樽市	十線浜	鯨類	ネズミイルカ	♂	1.35	腐敗進行, 食害顕著	○13	SNH18014
	7	29	小樽市	十線浜	鯨類	カマイルカ		2.167	腐敗進行	*14	SNH18023
	7	29	小樽市	銭函	鯨類	カマイルカ	♀			SNH	SNH18024
	10	23	厚田区	嶺泊	鯨類	ネズミイルカ科			頭骨のみ, 白骨化	○15	
	12	2	厚田区	嶺泊	鯨類	ミンククジラ	♂	7	新鮮	○16	SNH18050

厚田区：石狩市厚田区
浜益区：石狩市浜益区

イシイルカはすべてイシイルカ型で、
リクゼンイルカ型は確認されていない。

○：著者が発見、もしくは発見通報を受けて現地確認した事例。
番号は図5の写真の番号に対応。
SNHに登録されているものは整理番号を記載した。
*：著者が発見通報と情報を受けたが現地確認はしていない事例。
SNH：SNH報告書・webより



1. 2011.04.07 オウギハクジラ



2. 2012.01.12 ネズミイルカ



3. 2012.02.07 ネズミイルカ



4. 2012.02.11 ネズミイルカ



5. 2012.05.13 小型鯨類



6. 2012.12.28 ネズミイルカ



7. 2014.06.21 カマイルカ



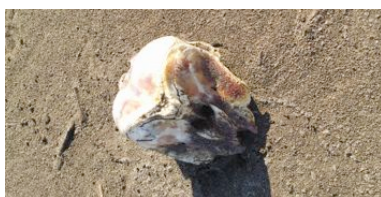
8. 2015.01.14 オウギハクジラ



9. 2015.02.05 ミンククジラ



10. 2016.10.16 ネズミイルカ科



11. 2017.03.12 ネズミイルカ科 (頭骨)
(撮影: 情報提供者)



12. 2017.11.15 中～大型鯨類 (椎骨)



13. 2018.05.29 ネズミイルカ



14. 2018.07.29 カマイルカ
(撮影: 福田修平さん)



15. 2018.10.23 ネズミイルカ科 (頭骨)
(撮影: 上坂由香さん)



16. 2018.12.02 ミンククジラ

図5. 石狩湾東部沿岸で確認されたストランディング鯨類 (2011年～2018年, 抜粋).

表 3. 石狩湾東部沿岸で確認された鰭脚類ストランディング

発見年	月	日	市・区	地名	分類	種名等	性別	体長(m)	状態・備考	情報源
1981	7	20	石狩市	石狩湾新港	鰭脚類	クラカケアザラシ		1.2~1.3	迷入（石狩市, 1981）	←
2004	10	20	石狩市	石狩浜	鰭脚類	トド			砂中より発見, 死後1年以上?	○1
2005	4	17	石狩市	石狩浜	鰭脚類	ゴマフアザラシ				○2
2006	3	24	小樽市	十線浜	鰭脚類	トド	♂			○3
	5	4	石狩市	石狩浜	鰭脚類	ゴマフアザラシ				○4
	5	16	石狩市	石狩浜	鰭脚類	ゴマフアザラシ				○5
	6	9	厚田区	古潭	鰭脚類	トド				○6
2007	2	6	石狩市	石狩浜	鰭脚類	オットセイ	♂		上陸（生体）	*7
	6	20	石狩市	石狩浜	鰭脚類	トド	♂	3.06	腐敗進行	○
	6	26	石狩市	石狩浜	鰭脚類	オットセイ	♀	1.2	出産途中の個体	○8
2008	4	12	小樽市	大浜	鰭脚類	ゴマフアザラシ		1.39		○9
	4	13	小樽市	十線浜	鰭脚類	オットセイ				○10
	11	1	厚田区	古潭	鰭脚類	オットセイ			頭骨のみ	○
	11	10	石狩市	石狩浜	鰭脚類	トド		2.5+	腐敗進行	○11
2009	1	2	厚田区	無煙浜	鰭脚類	トド			受報後に流出?	*
	1	25	厚田区	古潭	鰭脚類	トド		2+		○
	2	1	厚田区	厚田	鰭脚類	オットセイ		1.8		○
	2	11	小樽市	十線浜	鰭脚類	オットセイ			食害顕著	○12
	2	15	厚田区	無煙浜	鰭脚類	トド	♀	2.92	新鮮	○
	3	12	厚田区	厚田	鰭脚類	トド				○
	5	14	石狩市	石狩浜	鰭脚類	アザラシ		1.29	食害顕著, 腐敗進行	○13
	5	15	石狩市	石狩浜	鰭脚類	トド	♀	2.3		○14
	5	20	石狩市	石狩浜	鰭脚類	トド		2		*
	5	24	厚田区	古潭	鰭脚類	トド		2+	腐敗進行	*
	5	28	石狩市	石狩浜	鰭脚類	オットセイ	♂	2~2.5	腐敗進行	○15
	5	28	石狩市	石狩浜	鰭脚類	トド	♀	2.2	腐敗進行	○16
2010	03	26	石狩市	石狩浜	鰭脚類	アシカ科			白骨	○17
	03	27	石狩市	石狩浜	鰭脚類	アザラシ			白骨	○18
	11	24	石狩市	石狩浜	鰭脚類	トド			白骨	○19
2011	3	9	厚田区	厚田	鰭脚類	トド				*
	4	10	厚田区	知津狩	鰭脚類	トド	♂	2.93		○20
	4	11	厚田区	知津狩	鰭脚類	アザラシ			白骨	*
	4	21	石狩市	石狩浜	鰭脚類	アザラシ			ほぼ白骨	*
	7	2	石狩市	石狩浜	鰭脚類	アシカ科		1.6~1.7	腐敗進行, 頭部欠損	○21
	7	3	厚田区	望来	鰭脚類	トド		2	頭部欠損, 腐敗進行, 食害顕著	*
	7	3	厚田区	古潭	鰭脚類	トド		2~3	腐敗進行, 食害顕著	*
	7	7	厚田区	古潭	鰭脚類	トド	♀	2~2.2	腐敗進行, 食害顕著	○22
2012	3	3	小樽市	大浜	鰭脚類	トド		3.5	新鮮	*
	3	10	厚田区	厚田	鰭脚類	トド			頭部は白骨化	*
	3	24	厚田区	厚田	鰭脚類	トド		1.5		*
	5	13	小樽市	十線浜	鰭脚類	トド			食害顕著	*
	5	30	石狩市	石狩浜	鰭脚類	ゴマフアザラシ		1.35		○23
2013	3	20	石狩市	石狩浜	鰭脚類	トド		2.5~3		*
	6	7	厚田区	嶺泊	鰭脚類	トド		3	腐敗進行, 食害顕著	○
	6	?	小樽市	大浜	鰭脚類	ゴマフアザラシ				*
2014	2	23	小樽市		鰭脚類	オットセイ			ほぼ白骨, 頭部欠損	*
	5	10	厚田区	厚田	鰭脚類	オットセイ			ほぼ白骨	○
	6	19	厚田区	無煙浜	鰭脚類	トド	♂	2.8+	頭部欠損	○24
	6	19	厚田区	厚田	鰭脚類	トド			ほぼ白骨	○25
	6	21	石狩市	石狩浜	鰭脚類	トド	♀	1.63	新鮮	○26
	6	22	小樽市		鰭脚類	アシカ科			頭部は白骨化	*
	6	22	小樽市		鰭脚類	アシカ科			腐敗進行	*
2015	3	22	厚田区	無煙浜	鰭脚類	トド				*
	4	7	石狩市	石狩浜	鰭脚類	ゴマフアザラシ		1+	食害顕著	○27
2018	2	28	厚田区	古潭	鰭脚類	トド	♂	3~4	新鮮	○28
	12	21	石狩市	石狩浜	鰭脚類	オットセイ	♀	1.7	新鮮	○29

厚田区：石狩市厚田区
浜益区：石狩市浜益区

○：著者が発見, もしくは発見通報を受けて現地確認した事例,
番号は図6の写真の番号に対応,
*：著者が発見通報と情報を受けたが現地確認はしていない事例.



1. 2004.10.20 トド



2. 2005.04.17 ゴマフアザラシ



3. 2006.03.24 トド



4. 2006.05.04 ゴマフアザラシ



5. 2006.05.16 ゴマフアザラシ



6. 2006.06.09 トド



7. 2007.02.06 オットセイ
(撮影：内藤華子さん)



8. 2007.06.26 オットセイ



9. 2008.04.12 ゴマフアザラシ



10. 2008.04.13 オットセイ



11. 2008.11.10 トド



12. 2009.02.11 オットセイ



13. 2009.05.14 アザラシ



14. 2009.05.15 トド



15. 2009.05.28 オットセイ



16. 2009.05.28 トド



17. 2010.03.26 アシカ科



18. 2010.03.27 アザラシ



19. 2010.11.24 トド



20. 2011.04.10 トド



21. 2011.07.02 アシカ科



22. 2011.07.07 トド



23. 2012.05.30 ゴマフアザラシ



24. 2014.06.19 トド



25. 2014.06.19 トド



26. 2014.06.21 トド



27. 2015.04.07 ゴマフアザラシ
(撮影：石橋孝夫さん)



28. 2018.02.28 トド



29. 2018.12.21 オットセイ
(撮影：白鳥徹さん)

図6. 石狩湾東部沿岸で確認されたストランディング鯨脚類（抜粋）.

- 松石隆, 2018. 出動！イルカ・クジラ110番. 海文堂.
- Nakamura, T., Kimura, O., Matsuda, A., Matsuishi, T., Kobayashi, M., Endo, T., 2015. Radiocesium contamination of cetaceans stranded along the coast of Hokkaido, Japan, and an estimation of their travel routes. *Marine Ecology Progress Series*, 535: 1-9.
- 下関鯨類研究室, web site. ストランディングデータベース. <http://whalelab.org/stranding.html> (2019年1月3日閲覧).
- ストランディングネットワーク北海道, 2008. 2007年度SNH活動報告書. SNH.
- ストランディングネットワーク北海道, 2009. 2008年度SNH活動報告書. SNH.
- ストランディングネットワーク北海道, 2010. 2009年SNH活動報告書. SNH.
- ストランディングネットワーク北海道, 2011. 2010年SNH活動報告書. SNH.
- ストランディングネットワーク北海道, 2012. 2011年SNH活動報告書. SNH.
- ストランディングネットワーク北海道, 2013. 2012年SNH活動報告書. SNH.
- ストランディングネットワーク北海道, 2014. 2013年SNH活動報告書. SNH.
- ストランディングネットワーク北海道, 2015. 2014年SNH活動報告書. SNH.
- ストランディングネットワーク北海道, 2016. 2015年SNH活動報告書. SNH.
- ストランディングネットワーク北海道, 2017. 2016年SNH活動報告書. SNH.
- ストランディングネットワーク北海道, web site. <http://kujira110.com/> (2019年1月3日閲覧).
- Taguchi, M., Ishikawa, H., Matsuishi, T., 2010. Seasonal distribution of harbour porpoise (*Phocoena phocoena*) in Japanese waters inferred from stranding and bycatch records. *Mammal Study*, 35(2): 133-138.
- 谷内鴻・藤村久和・鈴木藤吉・木滑二郎 編, 1969. 厚田村史. 厚田村.

Records of marine mammals stranding
along the eastern coast of Ishikari Bay, Hokkaido, Japan.

Kenji SHIGA

Abstract

The results of field survey and past records of marine mammals stranding up to 2018 on the eastern coast of Ishikari Bay were compiled. As a result, It was revealed that there had been stranding cases of 74 individuals of Cetacea, and 56 individuals of Pinnipedia. Harbour porpoise is the most numerous in Cetacea, and Steller's sea lion is the most numerous in Pinnipedia, respectively.

Key words: Cetacea, Pinnipedia, stranding, drifting ashore, Ishikari Bay